国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

WEEKLY REPORT

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長　シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　桑澤 一郎

Rotary Club of Ueda

2021-22年度
上田ロータリークラブ
- 会長　米津 仁志
- 副会長　金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事　柳澤 雄次郎
- 会報委員長　田邉 利江子

第２８６３回例会（令和４年３月28日）
《オンライン例会》

ホームページQR

[2022-2023年度 委嘱状]
島田甲子雄さん
国際ロータリー第2600地区
2022-2023年度　地区諮問委員会　委員
2022-2023年度　米山記念奨学委員会カウンセラー

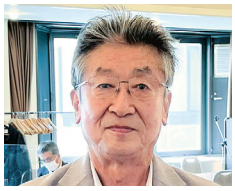
Rotary
委嘱状
上田ロータリークラブ
島田　甲子雄 殿
貴殿を国際ロータリー第2600地区
2022-2023年度 地区諮問委員会 委員に
ご委嘱申し上げます。
2022年3月12日
国際ロータリー第2600地区
2021-2022年度
ガバナー　桑澤　一郎
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2600

Rotary
委嘱状
上田ロータリークラブ
島田　甲子雄 殿
貴殿を国際ロータリー第2600地区
2022-2023年度 米山記念奨学委員会
カウンセラー にご委嘱申し上げます。
2022年3月12日
国際ロータリー第2600地区
2021-2022年度
ガバナー　桑澤　一郎
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2600

[退会の挨拶]　小池文彦さん

皆さんこんにちは　小池です。
この度、上田ＲＣを退会することになりました。４月から上田信用金庫を代表してメンバーとしてお世話になる春原を紹介します。
春原は上田出身で、現在は本店の理事店長をしております。
私に続いて皆様にお世話になりますので今後ともよろしくお願いします。
退会といっても私がどこかに転勤を命ぜられたりというケースではないので、この地にいて、これからもお世話になりたい！なります！という思いでございます。
私が上田ＲＣに入会して８年弱になります。若い頃からＪＣの活動をしており、その後ロータリークラブに入会しました。千曲川ＲＣ、佐久ＲＣ、最後に上田ＲＣとちょっと変わった経緯があります。若い頃からこうした団体に入るメリットを痛烈に感じてきていましたので、いい思いをずっと独り占めするのはいけないかなと思いまして、このたび後進に譲ることにいたしました。
引継ぎをするという意味での退会ですので、これからはこの上田ＲＣへの勧誘活動をするということでお世話になりたいと思います。
上田ＲＣには色んな趣味の同好会がありますので、こちらの方に積極的に参加をしてこれまで通りに皆さんとの交流を大切にしていきたいと思っております。菅原洋一の「今日でお別れ」を歌う気分ではないということでございます。皆々様のこれからますますのご活躍を祈念いたしましてご挨拶させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。お世話になりました。

[委員会報告「国際奉仕」]　伊藤典夫　委員長



この度、桑澤ガバナーよりウクライナ支援に対する当地区の対応の連絡がきています。

●ウクライナ支援に対する当地区の対応について

去る３月９日に開催されました災害対策委員会により、ウクライナ支援に対する当地区の対応として決定した内容を報告いたします。

1. 地区災害対策特別基金より金200万円を拠出し「ロータリー財団災害救援基金」に寄附する
2. 各クラブへ上記基金への寄附を依頼する
3. 個人での上記基金への寄附を依頼する

会員の皆様には十分に事情を精査していただきまして、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。今日から募金箱を用意しております。ひとり一万円以上ということでお願いをしたいと思っております。オンライン例会が続き会場に来れない会員の方は、事務局に届けていただければありがたいです。この募金はポール・ハリス・フェローやマルチプルにあたります。できるだけ多額のご寄付をよろしくお願いいたします。

[会長挨拶]　米津仁志　会長

みなさん、こんにちは～だいぶ春らしくなってまいりました。
ロシアのウクライナ侵攻は先行きが見えません。いま、ロータリアンとしてできることは、困っている人たちに手を貸すことであります。
例会を通じ以前からみなさんにお願いしておりましたが、ＲＩ2600地区から正式な要請もあり、当クラブでも公式にＲＩの災害救援基金に対する募金を開始します。この基金は、

ウクライナへの水、食料、シェルター、医療品、衣服といった物品を含む救援物資や、難民や被災者を支援するための災害救援補助金に優先的に活用されます。

ウクライナ侵攻においては、永世中立国であったスイス（2014年のクリミア併合でも経済制裁に参加していません）や、戦後一貫して中立を保ち、ロシアとの関係も深いオーストリアもロシアへの制裁に参加しています。政治的な腐敗と人口減少が進んでいて、すぐに降参するだろうと思われていたウクライナが勇敢に戦っている姿を見て、西側諸国は昔の教訓を思い出したのです。

1938年（昭和13年）９月、当時のチェコスロバキアのズデーテン地方の帰属問題を解決するため、ドイツのミュンヘンで「ミュンヘン会談」と呼ばれる国際会議が開かれました。ズデーテン地方とは、チェコスロバキアの領土で、ポーランド、ドイツ、オーストリアの三国が国境を接しており、ドイツ系住民が多数を占める地域です。この会談の出席者はイギリスのチェンバレン、フランスのダラディエ、イタリアのムッソリーニ、ドイツのヒトラーの４人。ズデーテン地方を自国へ帰属させることを主張したドイツのアドルフ・ヒトラー総統に対し、イギリス・フランス両首脳は、これ以上の領土要求を行わないことを条件に、ヒトラーの要求を全面的に認めました。この時期、裏ではドイツの参謀総長であったルードヴィヒ・ベック上級大将が、ヒトラーに対するクーデターを企てたり、チェンバレンに密使を送ってドイツに強硬姿勢をとるように促したりしていましたが、失敗しています。ベックはその後、1944年７月にヒトラーの暗殺計画に加担しましたが、失敗して、自殺しています。

この会談で成立したミュンヘン協定は、戦間期の宥和政策の典型とされています。この協定により戦争が回避されたことを当時のイギリスやフランスの国民は大歓迎し好意的に受け止められました。

これ以降、イギリス、フランスが軍事的介入をしないことを確信したヒトラーはより冒険的な外交を行うようになり、一年後の1939年９月にはポーランド侵攻を開始し、第二次世界大戦開戦となりました。いまではこの協定は評価されていません。アメリカを含む西側諸国は、この歴史を苦い経験としてとらえ、中高の歴史で徹底的に教育しているそうです。この教訓から西側諸国はプーチンに対して強硬姿勢にあるのだと思います。

長野県の感染状況は一進一退と言ったところです。木曽地域だけが特別警報Ⅰ（レベル４）、上田圏域を含めその他すべての地域が特別警報Ⅱ（レベル５）です。以下の情報は私がインターネットから収集したものですので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの新規感染者数は３月18日～３月24日の一週間の値で、長野県全体は151.85人（122.65人）、上田圏域は102.11人（115.00人）、佐久圏域が121.81人（103.22人）、長野圏域215.50人（143.79人）、南信州が99.77人（58.57人）、北アルプス圏域106.70人（110.25人）です。木曽圏域は78.50人（82.43人）です。長野県全体として悪化傾向にあります。カッコ内は前週の値です。

全国的には、全国平均で214.19人（309.26人）、大阪252.03人（447.61人）、東京317.81人（461.30人）、沖縄375.82人（325.55人、石川県120.64人（230.53人）、富山県152.95人（272.00人）です。（３月19日～25日の値）

一人が何人に感染させるかを示す実効再生産数は、全国平均で１月９日に5.9人でピークを打ち、３月25日には0.93です。この数値が１を切ってから下げ止まっています。長野県は、１月８日に4.62人でピークとなり、３月25日で1.01（前週1.01）です。先週よりも悪化しました。長野県の25日現在の重症者は０人です。

海外につきましては、３月３日現在の値で、アメリカが65.94人（77.52人）、フランス1256.62人（646.47人）、韓国が4792.45人（3885.82人）、イギリスが883.31人（607.68人）、ドイツが1074.79人（1594.23人）、南アフリカ17.12人（17.53人）です。25日現在の値で、カッコ内は前週の値です。国によってばらつきがありますが、全体的に改善しています。韓国はかなり悪化しています。中国のデータはあまり信用できないのでいままで紹介してきませんでしたが、25日現在1.07人です。上海ではいままで、経済に影響があるとしてロックダウンをせずに感染を抑え込むという方針でしたが、今朝の報道によると東西を区切って段階的に大規模封鎖ロックダウンを行うようです。実際には感染が広がっているようです。データは札幌医大フロンティア医学研究所のサイトから引用しています。

さて、恒例のドラッカーの『マネジメント』のご紹介です。本日は「第36章　成果中心の精神」の「真摯さ」（Integrity, the Touchstone）の節からご紹介します。以下、本文を編集して引用します。

“真摯さ（integrity）を絶対視して、初めてマネジメントの真剣さが示される。それは人事に表れる。リーダーシップが発揮されるのは、真摯さによってである。範となるのも、真摯さによってである。真摯さは、取って付けるわけにはいかない。

真摯さはごまかせない。ともに働く者、特に部下には、上司が真摯であるかどうかは数週でわかる。無能、無知、頼りなさ、態度の悪さには寛大になれる。だが真摯さの欠如は許さない。<u>そのような者を選ぶ者を許さない。</u>真摯さを定義することは難しい。しかし、マネジメントの地位にあることを不適とすべき真摯さの欠如を明らかにすることは難しくない。

①人の強みよりも弱みに目のいく者をマネジメントの地位に就けてはならない。
②マネジメントたる者は実践家でなくてはならない。評論家であってはならない。
③何が正しいかよりも、誰が正しいかに関心をもつ者をマネジメントの地位に就けてはならない。
④真摯さよりも頭のよさを重視する者は、マネジメントの地位に就けてはならない。
⑤できる部下に脅威を感じることが明らかな者も、マネジメントの地位に就けてはならない。
⑥自らの仕事に高い基準を設定しない者もマネジメントの地位に就けてはならない。

いかに知識があり、聡明であって、上手に仕事をこなしても、真摯さに欠ける者は組織を破壊する。

このことは特にトップマネジメントについていえる。しかも、組織の精神はトップで形成される。組織が偉大たりうるのはトップが偉大なときだけである。組織が腐るのはトップが腐るからである。「木は梢から枯れる」との言葉どおりである。したがって、範とすることのできない者を高い位置に就けてはならない。

リーダーシップとは、人のビジョンを高め、成果の水準を高め、通常の限界を超えて人格を高めることである。そのようなリーダーシップの基盤として、行動と責任についての厳格な原則、成果についての高度の基準、個としての人と仕事に対する敬意を、<u>日常の実践によって確認していくという組織の精神</u>に勝るものはない。”

『マネジメント（中）』第36章
「成果中心の精神」p 109-111より抽出、編集して引用

真摯さ(integrity)は、日本語としては普段はあまり使われることがないと思います。翻訳者の上田先生の訳によって有名になった言葉といっても過言ではありません。 今までも何度かご紹介してきました。

しかし、真摯さとは何か？と聞かれると、なかなか答えづらいと思います。『マネジメント』には日経ＢＰ版という別の訳書もありまして、そちらでは翻訳者の有賀裕子さんが「高潔さ」と訳しておられます。

今回ご紹介するのは、その謎の「真摯さ」について解説されている部分です。引用した文章は、私が本文を編集してあります。

ドラッカーは「真摯さ」は後からつけることのできない資質で、この資質がない者をマネジメントにつけてはならない、と述べています。「真摯さ」とは何かを知るために、ここを詳しく読んでみます。

私が編集した①～⑥に具体的内容が書かれています。これを読んでもまだ分かりづらいのですが、ご自分の部下を想像して自分だったらどうかと考えていただくと分かりやすいかと思います。

①ほめることが出来ず、揚げ足取りをして、怒ってばかりいるマネジャーです。素直でないとも言えます。②行動しないで評論ばかりする人です。③気に入った部下や好きな部下をえこひいきするマネジャー、有名人や他人の言うことを盲信するマネジャーですね。④頭がよい人よりも人柄が大切だということです。⑤将来自分を追い越してしまうかもしれない優秀な部下を落とそうとする人です。⑥いまの自分の出来る範囲で考えてしまう人です。これでは企業は伸びませんね。

リーダーシップは人気取りではなく、ヒトのビジョンを高め、成果の水準を高め、人格を高めることであります。

そのために、自分で自分に課す原則、基準、経緯などを組織の精神として職場で確認していくことが重要であるということです。「組織の精神」は有賀さんの訳では「経営層の心意気」と訳されています。

従業員たちは、真摯さをもたない者をマネジャーに任命した社長も許さないのです。売上や利益にばかりを気にして、原理原則を失わないようにしたいと思います。

本日はありがとうございました。みなさまどうぞご自愛ください。

[新入会員卓話] 木内孝信さん

●テーマ　パーパス経営

●私の履歴書

- 1998年　信州大学経済学部　卒業
- 1998年　㈱長野銀行へ入社
- 2003年　(税)小山会計へ転職
- 2006年　人事部創設
  (新卒・中途採用活動、トレーナー制度導入)
- 2007年　研修事業を始める
  (新入社員研修　2020年時点で14年連続開講)
- 2008年　出張 元気社員研修を始める
- 2009年　中小企業診断士　登録
- 2010年　後継者のためのやさしい経営塾開講
  (2019年８月時点で第５期修了)
- 2013年　一般社団法人ローカルカラー設立
  (独自固有の誇れる地域づくりを始める)
- 2018年　木内中小企業診断士事務所　開業

●企業活動目的の変化

■かつて企業活動は株主のためとされていたが、現在は社会全体のため社会を良くするために働くことへと変化してきている

2019年８月19日
米経営者団体ビジネス・ラウンドテーブルの声明

「われわれ個々の企業はそれぞれの企業目的を果たしている一方で、われわれは利害関係者すべてに対する根本的なコミットメントを共有している」

「米国民にとっては、各個人が勤勉さと創造性によって成功し、有意義で尊厳ある生活を送ることができる経済がふさわしい」

「**企業の目的は従業員や顧客、株主、社会全体を含むすべての構成**要素に仕える事だ」

■社会を良くするために働くことを具体的に表現すると

ＣＥＯは利益を生み、株主に価値を還元するために働く
しかし、一歩先を行く企業はそれ以上を目指す
顧客を最優先し、従業員や地域社会に投資する
最終的には、そうすることが長期的価値を構築

■具体的表現の背景にあるのは？

- 若い労働者が、経営者に対し、単に利益を最大化するよりも**より高尚なパーパス(存在意義)**を掲げることを求めている
- 消費者が**人や環境に良いこと**をしているように見える企業に注目するようになってきている
- 社会的意識の高い投資家らが**持続可能性、企業責任、社会的インパクト**といった観点を持つ金融商品に膨大な額の投資を行うようになってきている

■最近の若いミレニアム世代、Ｚ世代と言われる人ほど社会を良くするために働くと考える人が多い
つまり、近年のトレンドは……

株主のため　→　**社員**のため、**地域**のため
金のため　→　**顧客**のため、**社会**のため

■では何のため(目的)に会社経営をするの？
その一つの答えとして

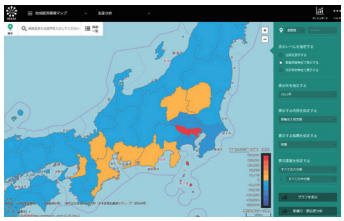
目指すゴール設定が必要！

ＳＤＧｓ
Sustainable Development Goals

■ＲＥＳＡＳ 環境分析

RESAS：地域経済分析システムで地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房が提供。

地域経済循環マップ　移輸出入収支額(地域外から所得を獲得or流出)



単位:億円

	移輸出入収支額			
	総額	第1次産業	第2次産業	第3次産業
長野県	-8,174	671	3,470	-12,315
新潟県	-7,492	846	-2,922	-5,416
富山県	-3,290	154	4,700	-8,144
岐阜県	-1,197	-72	5,795	-6,920
愛知県	39,494	-3,717	60,793	-17,582
静岡県	11,452	-5,131	41,915	-25,332
山梨県	-3,473	115	2,193	-5,781
群馬県	3,290	-430	18,059	-14,339
埼玉県	-55,409	-2,812	-5,198	-47,399
東京都	207,064	-9,567	-104,246	320,877

長野県は、３次産業が－12,000億円で総額にして8,000億円が県外に出ている

■私たちは長野県内の3次産業の流出を防ぐために会社を設立

地域密着型福利厚生
ローカルメリットクラブで実現する
持続可能な社会！

SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL GOVERNMENT

一般社団法人　ローカルカラー

■ローカルメリットクラブの仕組み

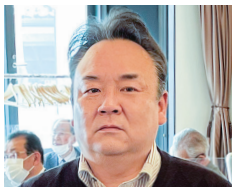
現在
加盟店は約700店舗
会員数は３万人

●県内に本社・温泉がある企業のみ加盟できる
●加盟するのはゼロ円だが、加盟店には代わりにドリンク、割引等のサービスをしてもらう
●ローカルカラーの収入源は、各加盟店のサービスを企業に福利厚生費として支払いただく販売料
この仕組みにより企業の社員の方に加盟店でお金を使ってもらい県内で循環させる

■地元店を意識的に使う仕組みで、独自固有の誇れる地域を創る

ご清聴ありがとうございました。

[幹事報告]　　柳澤雄次郎　幹事



1．米山奨学会
　ハイライトよねやま264号
2．地区事務所
　ウクライナ支援に対する当地区の対応について
　第32回ＲＹＬＡ開催のご案内
　「2022-2023年度のための地区研修・協議会」開催のご案内
　ロータリー財団寄付明細表（2022年２月）
　米山記念奨学会
　　①寄付金納入明細総合表（2022年２月）
　　②寄付金納入明細表（2022年２月）
　　③表彰一覧（2022年２月）
　　④寄付金傾向（2022年２月）
　コーディネーターニュース４月号
3．上田六文銭ＲＣ　パソコンウイルス注意喚起のお知らせ
4．上田こどもまつり実行委員会
　第50回うえだこどもまつり報告書・収支報告送付について
5．例会変更
　軽井沢ＲＣ　３月21日(月)　祝日休会
　　３月28日(月)
　　コロナウイルス感染防止の為休会
　　４月４日(月)　未定　定受なし
　長野東ＲＣ　３月16日(水)
　　コロナウイルス感染防止の為休会
　　３月23日(水)　祝日週　休会
　　３月30日(水)　オンライン例会　定受なし
　東御ＲＣ　３月31日(木)　コロナウイルス感染防止の為休会　定受なし

[ニコニコBOX]　　櫻井雅文　委員長

飯島幸宏さん　伊藤典夫さん　内河利夫さん　柄澤章司さん　北村修一さん　桑原茂実さん　小池文彦さん　小林俊明さん　酒井喜雄さん　酒巻弘さん　島田甲子雄さん　関啓治さん　関宇陽さん　田中健一さん　土屋勝浩さん　比田井美恵さん　増澤延男さん　丸山正一さん　矢島康夫さん　柳澤雄次郎さん　湯田勝己さん　米津仁志さん　木内孝信さん　田中克明さん　滋野眞さん

本日喜投額　25名　¥　50,000
累　計　¥1,385,500

[例会の記録]

司　会：関　宇陽　委員長
斉　唱：ロータリーソング「我等の生業」
●国際ロータリー2600地区より委嘱状　島田甲子雄さん
●退会の挨拶　小池文彦さん
●委員会報告「国際奉仕」　伊藤典夫委員長
●会長挨拶
●幹事報告
●新入会員卓話　木内孝信さん

[ラッキー賞]

増澤　延男さん（島田甲子雄さんから、京都やよいの佃煮）
伊藤　典夫さん（米津仁志さんから、輪島の御菓子）
関　宇陽さん（小池文彦さんから、すわ大社煎餅の羊羹）
木内　孝信さん（小池文彦さんから、すわ大社煎餅の羊羹）
柳澤雄次郎さん（小池文彦さんから、すわ大社煎餅の羊羹）

[出席報告]

関　宇陽　委員長

	本日	前々回（3/7）
会員数	59	59
出席ベース	53	50
出席者数	46	46
出席免除(b)（ ）内は出席者数	11(5)	11(3)
出席免除(a)	0	0
メークアップ（ ）内はMake up後		0(46)
出席率	コロナ禍の為 100	コロナ禍の為 100

[次回例会予定]

４月11日(月)　職業奉仕表彰・ゲストスピーチ
　NPO法人上田エネルギー理事長　藤川まゆみ様

（４月４日発行）
【会報担当】　小林俊明　委員